

事業報告書

1. 事業名

遺伝子組換え実験安全研修会

2. 事業目的

文部科学省の方針に基づき、各機関のより良い遺伝子組換え実験安全管理体制構築に関する情報提供・情報交換および討論を行う。

3. 開催期間

平成28年6月25日(土) 10時00分～16時00分

4. 開催場所

千里ライフサイエンスセンター サイエンスホール

5. 主催

全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会 主催

国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議 共催

6. 後援

文部科学省

7. 参加機関

官公庁 1組織、国立大学法人 30校、私立大学 20校、
国立研究開発法人・大学共同利用機関・公益財団法人 7機関、
民間研究所等 16組織

合計74機関 参加者合計125名

8. 事業概要

プログラムに従って、午前中は開催の挨拶の後、Gene Drive 及びヒト遺伝情報についての情報提供が行われ、会場の参加者からの質問及び討論が行われた。

午後は、文部科学省研究振興局ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室 伊藤隆専門官によるカルタヘナ法の説明、ならびに生命科学研究係 勝股靖貴係長による名古屋議定書の説明が行われた。引き続き、大学遺伝子協 難波栄二代表幹事により、協議会で実施したゲノム編集に関するアンケートの結果についての報告が行われた。続いて、ゲノム編集生物技術の可能性と倫理的課題についてのパネルディスカッションを行い、質疑応答や討議・意見交換が活発に行われた。

参加者へのアンケート調査を行った結果、有用な情報が得られ、大変有意義だったとのことであった。今後もこのような機会があれば積極的に参加したいとの意見が多数寄せられた。

参考資料

- ① 当該安全研修会のポスター
- ② 当日スナップ写真

ゲノム編集技術の普及 -その可能性と倫理的課題-

プログラム

- 10:00~11:00 **Gene Driveについて**
情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 上田 龍
- 11:00~12:00 **ヒト遺伝情報について**
東京大学 医科学研究所 公共政策研究分野 武藤 香織
鳥取大学 地域学部 地域政策学科 丸 祐一
- 13:00~14:30 **カルタヘナ法について**
文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課 生命倫理・安全対策室
- 名古屋議定書について**
文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課 生命科学研究係
- ゲノム編集に関する国内の状況**
- 14:40~16:00 **パネルディスカッション - ゲノム編集技術の可能性と倫理的課題 -**

PAKUTAS

日時：2016年6月25日(土) 10時~16時

場所：千里ライフサイエンスセンター
サイエンスホール

参加費 2,000円 (資料代)

この安全研修会は、遺伝子組換え実験の安全管理に関係する方であればどなたでも参加出来ます

申込方法：下記ホームページからお申し込み下さい
<http://www1a.biglobe.ne.jp/iden-kyo/index.html>
参加申込締切：2016年6月10日(金)

お問合せ先：全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会 事務局
〒683-8503 鳥取県米子市西町86
鳥取大学生命機能研究支援センター 遺伝子探索分野内
TEL:0859-38-6472 FAX:0859-38-6470
E-mail: aapgs@knd.biglobe.ne.jp

主催：全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会
共催：国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議
後援：文部科学省

研修会当日のスナップ写真



受付



午前の講演



午前の講演



午後の講演



午後の講演



パネルディスカッション